

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		その他小売 〔ショッピング センター〕（統 括）	来客数の動き	・6年ぶりに大型リニューアルを行った。県内初出店の専門 店を始め、新たな集客コンセプトが創出でき、非常に良い改 装になっている。
		百貨店（役員）	販売量の動き	・物産催事を中心に来客数が増え、買い回りにつながってい る。
		一般レストラン （経営者）	単価の動き	・30～40代の子育て世代の来客が減りつつある。20代女性の 来客数は変わらず、単価は上がっている。50代以上は来店す る日に偏りはあるものの、来客数、単価共に変わらず良い。
		その他飲食〔給 食・レストラ ン〕（総務）	お客様の様子	・年初は業績の落ち込みを心配された取引先も多かったが、 3月以降は持ち直しの傾向がみられる。海外情勢も、大きな 対立を避ける動きがみられれば、現状のまま、やや良くなっ ていく。
		旅行代理店（所 長）	来客数の動き	・インパウンドの来訪者数は、右肩上がり伸びてきてい る。ただし、いまだに東京からの日帰り旅客が多いので、宿 泊を伴う旅行にいかにかシフトできるかが課題である。
		テーマパーク （職員）	来客数の動き	・温暖な天候が続いたことなどから、年末より来客数が増加 している。
		設計事務所（所 長）	お客様の様子	・公共工事は前年度からの継続工事を行っている。民間工事 もそれなりに発注がある。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・統一地方選挙で街の中は多少にぎわいを感じ、春のイベン ト会場は前年を上回る人出がある。ただし、個店への入込客 はほとんどない。
		一般小売店〔精 肉〕（経営者）	お客様の様子	・ゴールデンウィークを楽しむが、買物は控え目な方が多 い。大型店で楽しみながら、お金を使わず過ごしている方も 見受けられる。一般小売店への影響は大きい。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・商品群では、主力の衣料品を中心に不振が続いている。店 全体では、客単価、買上品単価に余り変化はないが、来客数 が著しく減少している。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・主力である食料品の来客数は4%ほど減っているが、全館 売上はほぼ前年並みである。
		スーパー（商品 部担当）	来客数の動き	・ここ数か月、値上げなどの影響をさほど感じることもな く、来客数は大きく変わらず横ばいである。この時期の客単 価も例年並みに推移している。
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・心理的なものかもしれないが、やや悪くなっているような 気がしている。この10連休を控えて、客が少し買い渋りとい うか、買い控えているようである。令和を迎えるに当たっ て、昭和天皇の崩御という形での改元とは異なるので、そう いった点では、非常に景気にプラスとなる気がしており、コ ンビニでは令和にちなんだパンが出るなどのプラス作用もあ るが、全体的には、少し買い控えているようである。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・来客数は前年比マイナス3%で、1日当たり20名減であ る。客単価は微増で推移している。売上は前年比99%で推移 しているが、来客数の落ち込みが心配される。
		家電量販店（店 長）	来客数の動き	・客単価、来客数共に、減少傾向である。
		乗用車販売店 （経営者）	お客様の様子	・新車販売や車検等の整備売上は、過去3か月の季節要因の ある月とは比較できないが、前年同月との比較では10%減少 である。個人客ではなく、企業の代替需要である。
	乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・車検、定期点検の入庫率や、新車、中古車の販売量の動き 全てが低水準である。今年に入って4か月が過ぎ、5か月目 に入るが、変わらずに推移している。特別良くなるような状 況は周りにはないので、このままでしばらく続く。	

自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・身の回りで、変わったとか特別に悪いところも余りないが、伸びる要素は感じられない。何か物静かで不思議な感じがする。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・気候がなかなか安定せず、来客数が伸びない。季節商材の動きは相変わらず鈍い。
その他専門店 〔靴小売業〕 （経営者）	来客数の動き	・売上水準が低い状況は、今年も同じような感じで変わらない。来客数の減少が大きな要因である。生活用品の販売をしているので、単価を下げて販売した品目は良かったが、高単価の物の動きが悪い。総じて売上が低迷している。
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ホテルの稼働状況からみて、年度初めの企業研修などで稼働率は上がっているが、これは例年のことであって、景気の底上げという状況はみえないので、変わらない。
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・宿泊は好調を維持し、過去最高を更新している。料飲部門は繁忙日とそれ以外の波が激しく、全体としては、やや良いといったところである。
都市型ホテル（営業）	来客数の動き	・宿泊は比較的好調で、前年同期よりプラスとなる見込みである。宴会は前年同期よりやや落ち込みそうで、厳しい状況にある。全体的には3か月前と変わらない。
タクシー（経営者）	お客様の様子	・月初は良かったものの、中旬から動きが悪くなり、前年同月と比べて3%の減少である。
通信会社（局長）	お客様の様子	・当社の加入件数はお陰様で右肩上がり伸びている。一方で、支払滞納者も増えており、一概に景気が良いと判断できない。
ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・今月の計画2,850名に対し、見込みで2,810名とマイナス40名である。前年に比べて祝日が増えた分、来場者が増えると見込んだが、やらずれてしまっている。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、それほど変化がみられないからである。
その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・3月の固定的な繁忙期でも、受注、売上共に前年割れしている。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・特に変化がない。他業界では平成最後とのうたい文句で販売促進をしているようだが、当業界ではそのような動きはなさそうである。
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・消費税増税を6か月後に控え、買い控えは継続している。与党幹部の消費税増税延期発言の影響はない。
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・今月は異動の時期が終わり、賃貸も一段落しており、余り動きがない。不動産の引き合いもそれほどない。価格が極端に安い物件には、引き合いがあり、競売物件等には、かなりの参加者がいるものの、一般的な物件の動きは少ない。
一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・景気が下向きか上向きかと言われれば、下向き傾向である。客の財布のひもも固い。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・一部富裕層向け高額商材には動きがあったものの、各商品群とも苦戦を強いられている。引き続き衣料品の不振が顕著である。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・同じ動線上に競合店等の出店があったため、来客数が割れて、やや悪い。
その他専門店 〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量が減少し、受注量も減少している。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少が、じわじわ進んでおり、戻ってこない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間に、顧客との接触が図れないため、契約数の低下が予想される。
通信会社（総務担当）	販売量の動き	・今月、実質売価が上がったため、販売が減少している。
美容室（経営者）	来客数の動き	・与党幹部の消費税延期発言は、衆参同日選挙の思わくかどうかの真意はともかく海外世論かつ庶民の総意であるから、政府はもっと真摯に向き合うべきである。

	×	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・来客数が日に日に悪くなって落ち込んでいる。今月は年金支給月だったので、若干人出はあったものの、3か月前と比べて、緩いというよりは少し勾配のある下り坂がずっと続いている。かなり厳しい状況である。
	×	家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・企業であっても、無駄な備品等は買わなくなってきている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・例年なら3月は送別会、4月は歓迎会の時期である。今年は送別会は多少動きがあったものの、歓迎会をやらない企業がかなりあるようで、動き出したのは4月後半の週末だけである。売上は余り伸びない。
	×	タクシー(役員)	それ以外	・乗務員不足である。
	×	通信会社(経営者)	販売量の動き	・地方の零細企業に景気向上はやってくるのだろうか。いまだにどん底を抜け出せず、売上が上向く兆しはみえない。
企業 動向 関連 (北関東)		その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・自社太陽光発電工事で、6月に1,200坪で0.25メガの連携、7月には1,700坪0.36メガの連携開始となるため、良くなっている。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・今月は3か月前と比べて、飛び込みの注文が多い。
		輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車の北米販売が、88か月連続で前年超えとなっている。
		建設業(開発担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現政権誕生後、公共工事は順調に推移しており、今期受注は前年比10%増である。前政権時は、「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズのもと、建設業者は悪者扱いされていたが、自然災害が発生し、大変苦労した。災害復旧に建設業者は不可欠である。
		化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・製品によりばらつきがあるが、概ね横ばいで推移しており、変わらない。
		窯業・土石製品 製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・景気は横ばい状態である。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・海外の自動車メーカーに納入する部品が堅調に伸びており、忙しい状況が続いている。
		輸送用機械器具 製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先、受注量、販売量等の動きはまずまずで、前月と余り変わっていない。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・10連休となるゴールデンウィークを目の前に、レジャー用品やバーベキュー用品等の出荷量が多い。また、天候も良くエアコン、夏場商材である扇風機等も例年並みに売れている。ただし、燃料費の高騰により、利益は薄くなっている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・中小の製造、建設、小売、飲食業等、ほとんどの業種で大きな変化はない。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・判断を1ランク上げるところまでは全く行かないが、少し回復している。
		社会保険労務士	取引先の様子	・特に変わりはないが、10連休中の小売サービス業において、人手不足で人員のやりくりができず、一部店舗で数日の休業や営業時間短縮の措置等を取る企業がある。
		その他サービス 業[情報サービス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・商談件数、受注量共に、特段変化はみられない。
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・3月半ば以降から急激に受注量が減っており、4月はまだ良いものの、5～6月は前年比で2～3割落ちる。今までずっと右肩上がりて来ていたのが、ここへきて、2年ぶりくらいに右肩下がりになる。	
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・年度初めの閑散期ということも考慮しても、それ以上に動きが悪い。	

	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・連休が続き、通常月末に行っている管理や清掃等の業務もなくなったため、売上が減少している。そのほか、今月更新した年間契約も金額が下げられた契約が多く、同様に売上減少要因となっている。
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・消費税再増税への警戒感から、販促予算が削減されている。
	x	*	*
雇用関連 (北関東)		-	-
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・4月は、新年度に伴う衣料品、食品、贈答品等の販売の伸びが比較的にみられている。端午の節句の飾り物やその返礼品なども少しずつ出てきている。気候変動もあるが、ガソリン、灯油等の価格が上がっていることから、石油製品よりもエアコン等の伸びが幾分みられる。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数、有効求職者数共に3か月前や前年同月と比べて、多少の増減はあるものの、ほぼ変わらない。有効求人倍率についても同様である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年度は新卒、学卒以外の求人共に、人手不足を補うため人材確保の動きが活発であった。今年度も引き続き、人手不足による人材確保に奔走する企業と、今後の景気動向に不安感を持つ企業や人材が充足した企業もあり、求人数の増加に歯止めがかかっている感がある。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・人手不足ではあるものの、以前ほど求人数を大幅に増員するような動きは余りみられない。継続して数名を募集している状態である。また、前年ほど学生向け求人募集も多くない様子である。
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・仕事は多少あるものの、人が見つからないため、仕事にならないことが多々ある。
	人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・派遣期間が短くなっている。例えば1年間で6か月になるなどで、繁忙期間も短くなっている。
	x	*	*